

TOEIC IP テストの方略 2

選択科目「英語特論」の取り組みの分析より

宮奥 正道*

A Strategy for TOEIC IP Test 2

An Analysis of the Practice in the Class, 'English Seminar'

Masamichi MIYAOKU

Abstract

TOEIC Test has been playing a very important role in the evaluation of the English teaching in universities and colleges in Japan, and it has also become a very important tool for the evaluation in the various workplaces in order to choose graduates in their job application and decide employees' promotion. A certain target score in TOEIC test has already become a criterion of JABEE (Japan Accreditation for Engineering Education). In order to encourage our students to try to reach the target (400 in this college), we opened an English Seminar as one of elective subjects for the 4th and 5th year students. We would like to introduce how we are trying to persuade our students to strive to reach the goal in the seminar. We would also like to analyze the result of the actual TOEIC IP test and the practice for TOEIC test in the seminar.

Key words: TOEIC IP, Listening Test,

1 はじめに

近年、高等専門学校において、TOEIC テストは目標とするある一定の点数が、JABEE 認定の一つの基準にもなっていて、ますます高等専門学校の英語教育において重要になってきている。本校では 2006 年より TOEIC テストの対策として、4、5 年生を対象に「英語特論」が選択科目として開講された。

その取り組みの経過については昨年の本紀要において報告した。今回は 2010 年 1 月に実施した TOEIC IP テストの結果の分析をし、2010 年度前期「英語特論」の授業の中で実施した、TOEIC テストのための練習問題と、この授業の受講生が実際にうけた TOEIC IP テストの結果を比較しながら、受講生の学力を分析する。さらに、この授業の取り組みをより効果的にし、実際に TOEIC IP テストの点数を上げるための方略も提案したい。

2 TOEIC IP テストについて

2-1 TOEIC テストの受験者数の推移

本校で実施する TOEIC IP テストの受験者の推移は次のようになっている。

表 1 TOEIC IP テスト受験者数の推移

	2006 年 6月	2007 年 1月	2008 年 1月	2008 年 7月	2009 年 1月	2009 年 7月	2010 年 1月	2010 年 7月
本科生	11	11	20	11	21	26	38	22
専攻科生	0	2	9	6	7	7	16	0
計	11	13	29	17	28	33	54	22

年度ごとに見ると 2006 年度 24 名、2007 年度 29 名、2008 年度 45 名、2009 年度 87 名となってお

り、ここ2年は増加傾向にある。TOEIC IP テストの受験者の学力の分析をするには全体的に数が少ないが、2010年1月実施では受験者が54名いたため、この受験者のテストの分析を次にする。

2.1 2010年1月実施のTOEIC IP テストの分析

表1にあるように2010年1月実施のテストでは本科生38名、専攻科生16名、計54名が受験した。過去実施した中では人数が一番多く、また本科生の受験者の中で、4年生で英語特論を受講した学生が12名、同じく4年生で英語特論を受講していない学生が17名いる。そのため、英語特論を受講した学生と、していない学生とのテストを比較することで、英語特論で試験のために半期の間実施した効果がどのくらいあるのか分析を試みる。

表2 2010年1月実施のTOEIC IP テスト得点分布 (総得点の比較)

得点分布	本科生	専攻科生	特論選択者	特論非選択者
450以上	0	2	0	0
400-449	4	1	2	1
350-399	5	3	0	2
300-349	6	4	3	1
250-299	16	5	5	8
200-249	6	1	2	4
199以下	1	0	0	1
計	38	16	12	17
最高点	440	480	415	410
最低点	180	225	210	180
平均点	299.2	334.4	300.0	281.2
中央値	287.5	310	290	270
標準偏差	61.9	73.4	57.9	60.5

本科生と専攻科生の成績を比べてみると、専攻科生は平均点、中央値ともそれぞれ334.4点、310点と、本科生の平均点299.2点 中央値287.5点より高くなっている。また最高点も専攻科生は480点、本科生は440点と高く、450点以上が受験者16名中2名いる。

また4年生の受験者の内、選択科目「英語特論選択者」が12名、「英語特論非選択者」が17名受験している。この2つのグループを比較してみると、選択者の方が平均点300.0点、中央値310点となっており、非選択者の平均点281.2点、中央値270点となっていて、平均点で18.8点、中央値で20点高くなっている。300点以下の者が、選択者では受験者12名の内7名であるが、非選択者では受験者17名中13名もいる。このことから選択者の方が非選択者よりも成績が良いと言えるだろう。しかし、英語特論の選択者と非選択者が、英語特論の授業が開始した時点において、同じ程度の学力であったのかどうかはデータがなくて分からない。そのため授業の効果があったかどうかは述べることはできない。

3 授業について

3-1 選択科目「英語特論」

2006年度から一般科目の選択科目の一つとして、「英語特論」を起こした。これはTOEIC受験対策のための科目であり、ほぼ同じ内容で前期を「英語特論Ⅰ」後期を「英語特論Ⅱ」として、4年生、5年生を対象に実施している。この授業は2時間の授業と、2時間の自学自習からなっている。

授業ではTOEIC対策用の問題集（本年度は金星堂の「Get Ready for the TOEIC Test」）や英語の重要な語彙や語法の復習のために旺文社の「2009年度版英検準2級全問題集」を教材として使っている。さらにTOEIC運営委員会の「TOEICテスト新硬式問題集 Vol.3」を使い、毎回15分から20分程度時間を取って、各Partごとに細かく分け、問題を学生に解答させ、7回程度で1回分の試験が終わるようにして「練習テスト」と称して実施している。また、授業の初めには毎回Short Testと称して10分以内で実施できるリスニングのテストを実施している。

自学自習の時間はコンピューターを使って、e-learningを中心にした学習をしている。2時間も1つ

の教材で e-learning を実施すると、学生はすぐに飽きてしまうため、本校に導入している ALC NET Academy の他に、インターネット上無料で利用できる教材 (COCET 3300, VOA Special English, NHK World など) を利用している。学生がやりっぱなしで終わらないようにするため、ALC NET Academy と COCET3300 については、それぞれの教材について、あらかじめ授業の一番始めに配布した進度のシートに、自分がその日に取り組んだところを記入させ、そのシートを最後の授業で回収している。また、VOA Special English は教師があらかじめ指定しておいた記事のテーマ、内容などを、シートに記入させて提出させている。

3-2 授業の中で実施した TOEIC の練習

2010 年度前期に授業の中で、「TOEIC テスト新公式問題集 vol.3」を使って、学生に問題を解かしてみた。毎回各 Part ごと進むようにして、7回でテスト1回分が終わるようにした。その結果、前期では2回目は listening だけしか終わらなかった。

各 Part では問題を解く前に、問題の傾向や解き方のコツなどについて説明した。また Part 3、Part 4 では次の問題に進む前に、10秒から15秒ほど時間を取り、少し考える時間を与えてみた。しかし reading では大変時間がかかり、時間は規定の75分を大きく超え90分も取ったが、受講者17名の内全部解答したのは3名だけで、大半は No.170 あたりまで解答するのがやっとであった。中には1名 No.143 までしか解答できなかった者もいた。

表3 2010 年前期 授業「英語特論」で実施した TOEIC テスト練習 (Listening)

	Part 1 10 問		Part 2 30 問		Part 3 30 問		Part 4 30 問		Listening 100 問
	正解数	正解率%	正解数	正解率%	正解数	正解率%	正解数	正解率%	正解数
平均	6.6	65.9	14.4	48.0	12.5	41.6	15.1	50.4	48.6
中央値	7.0	70.0	15.0	50.0	12.0	40.0	15.0	50.0	50.0
標準偏差	2.1	20.6	3.9	12.8	3.4	11.5	3.6	12.0	7.6
上位5名平均	8.0	80.0	15.2	50.7	14.8	49.3	19.2	64.0	57.2
下位5名平均	4.6	46.0	11.2	37.3	10.4	34.7	13.0	43.3	39.2
最高	10	100.0	21	70.0	19	63.3	23	76.7	59
最低	3	30.0	8	26.7	7	23.3	9	30.0	34

表3は TOEIC テストの練習の Listening100 問の合計した点数の良い者から17名を順に並べ、各 Part ごとに作成した表を基にまとめたものである。したがって、問題の形式によって学生は得意、不得意もあり Part によっていくらか順位が入れ替わる。上位と下位の差を見るために、17名中の上位5名と下位5名の統計を取ってみた。

Part 1 は写真を見て、その写真の説明にもっとも適切な英文を、4つの中から選択する問題である。平均点、中央値とも Part1 の正解率が一番高く、この問題が一番解答するのに容易な問題である。しかし、正解率は上位5名 100%と下位5名が 30%と大きく開いている。

Part 2 は短い英語の単文の質問文が音声で提示され、それに対して3つの解答例が提示される。そのなかから正しい答えを選択する。上位5名でも Part 1 に比べると 50.7%とずいぶん正解率が落ちている。

Part 3 は比較的長い英文の対話文が音声で提示され、それに対して3つの質問がある。各質問に対して、解答の選択肢が4つある。Part 2 に比べてかなり難しく感じられるが、上位5名は 50.3 から 49.3 に下位5名は 37.3 から 34.7 へと、上位5名、下位5名とも正解率は Part 2 よりいくぶんか低くなっているものの、ほとんど変化はない。

Part 4 は長めの英文が朗読され、それに対して3つの問題が提示される。この問題が一番難しいと思われる正解率も悪いと予想した。しかし上位5名では 64.0、下位5名も 43.3 と正解率は Part3 よりも高くなっている。

表4はTOEICテストのReadingの内、Part 5とPart 6の正解数を合計し、合計点の高いものから17名を順番にならべた表を基に作成したものである。Part 7については時間が足りなくて解答できていない者が多く除くことにした。また下位5名の平均はPart 6が時間が足りなくて解答していないものが下位の中に1名いたので、その者を除く5名から表を作成した。

表4 2010年前期 授業「英語特論」で実施したTOEICテスト練習 (Reading)

	Part 5 40問		Part 6 12問		Part5+6 52問	
	正解数	正答率%	正解数	正答率%	計	正解率%
全体	13.4	33.5	5.1	42.2	18.8	36.1
中央値	15.0	37.5	5.0	41.7	19.5	37.5
標準偏差	3.6	9.1	1.7	14.0	4.0	7.7
上位5名平均	16.8	42.0	5.6	46.7	22.4	43.1
下位5名平均	9.6	24.0	4.8	40.0	14.4	27.7
最高	19	47.5	9	75.0	28	53.8
最低	5	12.5	2	16.7	9	17.3

Part 5は語法と文法の問題が中心であり、短い文の中にある空所に4つの選択肢から最も適切な語句を選ぶ形式の問題である。上位5名の平均の正解率は42.0、下位5名の平均の正解率は24.0と大きく差がついている。

Part 6は7行程度の英文を読み空所に4つの選択肢から最も適切な語句を選ぶ形式の問題である。文法的な理解が必要であるが、文脈から判断する問題もあり、Part 6より一段と難しい問題である。この問題では上位5名の正解率の平均は46.7、下位5名の正解率の平均が40.0となっており、上位と下位の差はあまりない。

3-3 2010年7月実施のTOEIC IP

2010年7月に実施したTOEIC IPテストの結果を次の表5にまとめた。

表5 授業「英語特論」の受講者のTOEIC IPテストの結果

Listening		Reading		L - R (差)		Total	
300以上	1	250以上	0	200以上	0	500以上	1
250-299	5	200-249	1	150-199	2	450-499以上	1
200-249	4	150-199	4	100-149	5	400-449	3
150-199	6	100-149	11	50-99	6	350-399	4
100-149	1	50-99	1	0-49	4	300-349	3
計	17	計	17	計	17	250-299	4
最高	315	最高	225	最高	165	200-249	1
最低	145	最低	90	最低	5	199以下	0
平均	220.9	平均	135.9	平均	85.0	計	17
中央値	230	中央値	130	中央値	75	最高	520
標準偏差	51.3	標準偏差	29.3	標準偏差	42.5	最低	245
						平均	350
						中央値	347.5
						標準偏差	72.0

(受験者総数は22名であったが、その中で英語特論の受講者の17名の成績をまとめた。)

総合計の点数を見ると、今回はJABEE認定で本校の目標とする400点を超えた人数は表の右側のTotalから5名いる。また350点から399までのもう少しの段階は4名いる。しかしその一方299点以下が4名もいてこれらの学生はTOEIC対策の目標とする英語特論の授業の効果があがっていない。中央値が347.5点であり全体的にはまずまずの結果である。

Listening の点数と Reading の点数を比べてみると、一般に Listening 試験の方が Reading よりも良いとわれているが、本校の受験者も平均で 85 点 Listening の試験の方が良い。1 名であるが、5 点しか差がない受験者もいる。Listening と Reading の標準偏差をみると、それぞれ 51.3 と 29.3 となっていて Listening の方が Reading よりも学力の差のばらつきがあることが分かる。

TOEIC テストを運営する「財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会」は Listening については 4 項目、Reading については 5 項目に分けている。それによれば次のようになっている。

- L1 短い会話、アナウンス、ナレーションなどの中で明確に述べられている情報を基に要点、目的、基本的な文脈を推測できる
- L2 長めの会話、アナウンス、ナレーションなどの中で明確に述べられている情報を基に要点、目的、基本的な文脈を推測できる。
- L3 短い会話、アナウンス、ナレーションにおいて詳細が理解できる。
- L4 長めの会話、アナウンス、ナレーションなどにおいて詳細が理解できる。
- R1 文書の中で情報をもとに推測できる。
- R2 文書の中で具体的な情報を見つけて理解できる。
- R3 ひとつの文書の中でまたは複数の文書間でちりばめられた情報を関連付けることができる。
- R4 語彙が理解できる。
- R5 文法が理解できる。

表 6 項目別の正答率の資料に基づき作成

	項目別 正答率 L1	項目別 正答率 L2	項目別 正答率 L3	項目別 正答率 L4	項目別 正答率 R1	項目別 正答率 R2	項目別 正答率 R3	項目別 正答率 R4	項目別 正答率 R5
80 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60-79	4	3	8	6	2	0	2	0	0
40-59	10	7	7	9	6	5	4	2	9
20-39	3	6	2	2	8	11	11	14	8
0-19	0	1	0	0	1	1	0	1	0
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17
最高	71	71	74	77	60	50	63	57	57
最低	35	19	30	33	7	17	21	14	25
平均	52.6	43.4	57.6	55.2	36.1	36.2	38.5	31.9	44.1
中央値	59	43	57	51	33	33	37	32	46
標準偏差	12.3	14.8	12.3	12.8	14.3	9.3	9.8	10.1	8.9

(送られてきた TOEIC テストの成績資料に基づき作成した表である。)

Listening では全体的に見れば、正解率の平均値では L3 が 57.6 と一番高く、それに続いて L4 が 55.2、L1 が 52.6、L2 が 43.4 の順番に低くなっている。一方、中央値では L1 が 59 と一番高く、それに続いて L3、の 57、L4 の 51、L2 の 43 となっている。しかし L1、L3、L4 は大きな差はなく、L2 が低くなっている。L2 より L4 の方が点数が高くなることは論理的にあり得ないと思われ、この差は誤差の範囲と考えるべきであろう。

Reading では R5 が平均で 44.1、中央値で 46 と他の項目と比べてやや高い程度であり、その他の項目では平均、中央値とも 30 台となっていて正答率が低いことを示している。このように項目ごとに比較しても L2 以外は Reading の学力は Listening の学力よりも低いことを示している。

4 練習テストの問題の分析

本校の学生は実際にどのような問題を比較的解くことができ、どのような問題を解くことができないのであろうかを、2010 年度前期の TOEIC 練習テストから、Part 2, 3, 4, 5 について例をあげながら分析してみる。

Listening の Part 1 は写真を見て答える問題であり、紙面の都合で省略する。また、Reading の Part

6はここに引用するには長文であり省略する。また Part 7は問題を時間の都合で解くことができなかった学生が多くデータを分析することはできない。

4-1 Listening Part 2 について

Part 2は単文を聞いて答える問題である。選択肢は3つあり、選択肢も印刷されていない。

4-1-1

表7 Part 2 で正解率の高い問題

解答	A	B	C	無解答	計
正解数	14	1	2	0	17
正解率%	82.4	5.9	11.8	0	100

問題 (Man) Who will meet me at the airport?
 (Woman) (A) Mr. Chang, our sales manager.
 (B) Yes, between eleven and twelve.
 (C) There's a good one nearby. 正解 (A)

この問題は Who で始まっており、この点が聞き取れれば簡単に答えることができる。

4-1-2

表8 Part 2 で正解率の悪かった問題

解答	A	B	C	無解答	計
正解数	4	11	2	0	17
正解率%	23.5	64.7	11.8	0	100

問題 (Man) Can you help me get to the expressway?
 (Woman) (A) It's a generous offer.
 (B) Cream and sugar.
 (C) Follow the signs. 正解 (C)

この問題は Can you～? で始まっているが、相手に「～ができる」のかどうかを尋ねているのではなく相手に道を教えてくれるように頼んでいることが理解できなければ解答できない。疑問文の形を取っているが依頼していることを理解しなければならない。Help me get to the expressway, please. とか疑問の形でも Will you please～? で始まっていれば依頼の文であることが学生は少し理解しやすかったと予想できる。

4-2 Part 3 について

Part 3は2人でされるかなり長い会話からなっており、これを聞いて解答が4つの選択肢から選ぶ問題である。問題と選択肢は印刷されている。一つの会話に対して3問の問題がある。

4-2-1 問題例

(Man) Good afternoon, I'd like to rent 10 long rectangular tables and 100 chairs for a dinner I'll be hosting next week. How much would that cost?
 (Woman) I'm sorry, but we don't currently have any long tables available. They've all been rented recently. Right now we only have square and round tables.
 (Man) No, we definitely need long, rectangular tables. Well, I guess I'll have to try another store.
 (Woman) Just a moment – Let me call our other rental facility in Hamilton. I can see if they have any available. (以上は音声だけ)

(以下の問題と選択肢は印刷されている。)

- 1) What are the speakers mainly discussing?
 (A) Designing furniture (B) Ordering food
 (C) Renting items (D) Reserving a room 正解 (C)

表9 Part 3 で やや正解率が低かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	4	5	6	2	0	17
正解率%	23.5	29.4	35.3	11.8	0	100

B と答えた者が5名と一番多い。これは読み上げた文の中で、a dinner という単語が耳に強く残ったためであると思われる。次にA と答えた者が4名いる。これは tables, chair という単語が強く印象に残ったためであろう。この問題を解くには rent, table, chairs という一連のキーワードが理解でき、初めの1行が理解できれば答えることができる。正解は5名で正解率は29.4%となっている。

- 2) According to the conversation, what is the problem?
 (A) Some items are not available. (B) A business is closed.
 (C) A delivery is late. (D) Some charges are wrong. 正解 (A)

表10 Part 3 で正解率が高かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	15	0	1	1	0	17
正解率%	88.2	0	5.9	5.9	0	100

この問題はほとんどの者が解答できている。これは女性の I'm sorry. と We don't ~have のところが理解できれば、解答は推察できる。

- 3) What will the woman most likely do next?
 (A) Go to a store. (B) Make a phone call.
 (C) Cancel an order. (D) Change a delivery date. 正解 (B)

表11 Part 3 で正解率が低かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	4	1	8	4	0	17
正解率%	23.5	5.9	47.1	23.5	0	100

この問題に対しては8名の者がCを選択している。すぐ前の問題から推測してCと答えた者と思われる。話の流れが途中で変わり、話の結末が始め頃聞き取れたところとは反対の方向になると、大変答えにくいと思われる。

4-3 Part 4 について

Part 3 は一人の人がするかなり長いアナウンスからなっており、これを聞いて解答を4つの選択肢から選ぶ問題である。問題と選択肢は印刷されている。一つの会話に対して3問の問題がある。

4-3-1 問題例1

And I have one final announcement. All employees will be required to attend a training seminar this week to become familiar with the office's new Omega telephone system. The seminar will be held in the conference room at 10 in the morning on both Wednesday and Thursday. You must sign up for the date you wish to attend the seminar by using the online registration form at the company Web site. Also, please remember that some technicians will be visiting our office next Monday morning from 9 A.M. to 11 A.M. to install the new

equipment. So please do not schedule any calls to clients during that time. For any critical calls that must be made on Monday morning, please speak with your departmental director to make special arrangements. (以上音声だけ)

- 1) What will employees learn about at the seminar?
 (A) A copy machine. (B) A filing system.
 (C) An internet science. (D) A telephone system. 正解 (D)

表 12 Part 4 で正解率が高かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	1	3	0	13	0	17
正解率%	5.9	17.6	0	76.5	0	100

この問題は 2 番目の文章の Omega telephone system が聞き取れればできる問題である。質問では learn about という表現が使っているが、本文では become familiar with という異なった言い方がされているので少し難しい。しかし、その前の attend a training seminar のところが理解できれば、Omega telephone system と文の最後に続くので、解答するために推察することができる。

- 2) How can employees sign up the seminar?
 (A) By sending fax. (B) By going to a Web site.
 (C) By making a phone call. (D) By going to an office. 正解 (B)

表 13 Part 4 で正解率が高かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	2	13	2	0	0	17
正解率%	11.8	76.5	11.8	0	0	100

この問題は by using the online registration form at the company Web site のところが理解できれば解答できる。しかし、このような Web を使って何かを申し込むことは本校の学生は日頃していることであり、常識的に考えても正解は導き出すことができると思われる。

4-3-2. 問題例 2

Good morning everyone, and welcome to our fourth annual medical conference. Before we get started, I have a couple of changes to announce. Dr. Martin Keller, who was to speak this morning at ten o'clock, has been delayed. His session will be moved to this afternoon at two o'clock. One other change, the location for tonight's banquet is now the red ballroom, not the grand ballroom. I'll post these changes on the bulletin board by the information desk in the lobby. Please make sure you check the board periodically for any further changes and updates. (以上音声だけ)

- 1) What is the purpose of this announcement?
 (A) To confirm a new conference location.
 (B) To report change to scheduled events.
 (C) To summarize a presentation.
 (D) To introduce a featured speaker. 正解 (B)

表 14 Part 4 で正解率の低かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	5	3	4	4	1	17
正解率%	29.4	17.6	23.5	23.5	5.9	100

この問題は 2 行目の I have a couple of changes to announce が聞き取れれば解答できる問題である。

さらに4行目の **one other change** というところがあるので、ここが聞き取れば解答できる問題である。しかし、解答がA5名、C4名、D4名と分かれている。初めの挨拶から、次に内容への変化するところで、大切なこのスピーチのテーマを聞き逃したために、後になっても聞き取りがついていけなかったのだらうと思われる。このようにスピーチのテーマを掴んでいないと、次の例のように比較的簡単な問題まで影響してしまう。

- 2) When will Dr. Keller's presentation take place?
 (A) At 10 A.M. (B) At 11 A.M.
 (C) At 2 P.M. (D) At 4 P.M. 正解 (C)

表 15 Part 4 で正解率がやや低かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	6	3	7	0	1	17
正解率%	35.3	17.6	41.2	0	5.9	100

この問題は時間を聞き取る問題であり、数字が聞き取れば簡単にできる問題である。しかし初めのところで、スケジュールの変更というこのスピーチのテーマが理解できていないために、初めに出てくる時間と、次に出てくる時間の意味が理解できず、始めに出てくるAの時間に6名の者が解答している。

以上のことから、スピーチのテーマが始めに理解できなければ、それにつれて後の比較的簡単な問題まで影響してくることを上の結果は表していると思われる。

4-4 Part 5 について

Listening の問題は発せられた問題を聞きながら解くために、それぞれの問題について時間が決められている。一方、Reading の問題を解くには、自分のペースで解くことができるため、問題を解く数の個人差が大きく出てくる。そのため、Reading の問題については、全員解答できたのは Part 5 だけである。そのため Part 6 以降については分析できない。

4-4-1

問題例 1

- One of Mr. Oh's primary duties is the _____ of the corporate food service.
 (A) Manage (B) manages (C) manageable (D) management 正解 (D)

表 16 Part 5 で正解率の高かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	2	2	0	13	0	17
正解率%	11.8	11.8	0	76.5	0	100

この問題は基礎的な文法の問題である。問題文の the ___ of のところに入るのは名詞が来ることは明らかであり、名詞は (D) だけである。

4-4-2

問題例 2

- Construction will begin on the new water park _____ all city permits are authorized.
 (A) as soon as (B) due to (C) during (D) up to 正解 (A)

表 17 Part 5 で正解率の低かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	2	7	5	3	0	17
正解率%	11.8	41.2	29.4	17.6	0	100

この問題は文法の問題である。下線部に来るのは接続詞であることがわかればすぐにとくことができる。また文章の意味から考えても、下線部に入るのは「～するとすぐに」が来なければ来なければならず、他の解答はありえない。したがって、解答することができなかった者は基礎的な文法の力がないし、またこの文章の意味も理解できていない。

4-4-4

問題例 3

According to industry experts, it is highly ____ that Aakster Inc, and NT&J Technologies will announce plans to merge in early May.

(A) probable (B) confident (C) advisable (D) potential 正解 (C)

表 18 Part 5 で正解率の低かった問題

解答	A	B	C	D	無解答	計
正解数	2	7	2	6	0	17
正解率%	11.8	41.2	11.8	35.3	0	100

解答の選択肢はいずれも形容詞である。そのためこの問題は文章の意味が理解できていないと解くことができない。この文章の中で出てくる単語は難しいものが多く、また選択肢の単語の意味が分からなければ解答できない。したがって、この問題を解くには語彙の力が必要である。

以上のことから Part 5 の問題を解くには基礎的な文法の力と語彙力が必要である。

6 結論

本研究においては、今までの TOEIC IP テストの受験者の推移を紹介し、2010 年度前期の授業「英語特論」の中で実施した TOEIC テストのための練習と実際の TOEIC IP テストの分析を行ってみた。

2006 年度から選択科目として始めた「英語特論」の受講者が、全員昨年からようやく、本校で実施する TOEIC IP テストを受験するようになりテストの受験が定着してきた、また受講者の中から本校の目標とする点数の 400 点を超える者が少しずつ増えてきた。このことから選択科目「英語特論」の趣旨が学生に伝わり定着して来たものと思われる。

国際ビジネスコミュニケーション協会から送られてきた TOEIC IP テストについて分析を行ってみた。Listening の方が Reading よりも平均で 85 点よく、一般に言われていることを裏付けた。しかし、Listening と Reading の中の L1 から L4、R1 から R5 までの各項目について、データを分析してみたがはっきりとした傾向は見つけることはできなかった。

授業の中で実施した TOEIC テストの練習問題の分析から分かったことについて次に述べる。

- ① Listening においては文章が長くなるとそのテーマが理解できないと、簡単な問題ですらも解くことができない者が多くなる。
- ② Reading においては基礎的な文法が理解できていないために問題を解くことができない者がいること、また単語力が不足しているために文章が理解できず問題を解くことができない者がいることがわかった。

このことから TOEIC 受験対策は受験のテクニックという技術的な問題ではなく、基礎的な文法の学力や、語彙力さらに、特に Listening においては全体の文章の流れから話のテーマを掴む力を養っていかなければならない。

6 参考資料

井上治(2008) 「TOEIC テスト初級者のためのリスニング・セクションパート2 攻略法再考 — 近畿大学経済学部の TOEIC テストへの取り組みとともに—」『生駒経済論叢』 第 6 巻第 2 号, pp.185-201
 小池生夫(1993) 『英語のヒアリングとその指導』東京、大修館書店
 小寺光雄・吉田三郎(2007) 「TOEIC 指導における e-learning 利用の効果について」『福井高等専門学校研究紀要』 No.41 pp.13-21,

竹蓋幸生(1984) 『ヒアリングの行動科学』東京、研究社

田辺英一郎(2008) 「高専4年次における TOEIC 指導」『鶴岡工業高等専門学校 No.43, pp.57-60

吉田研作(1989) 『英語リスニング上達の方法』東京、Japan Times

財団法人国際コミュニケーション編(2008) 『TOEIC テスト 新硬式問題集 Vol.3』東京、TOEIC 運営委員会

